



カリスマファーストレディVS
亭主関白大統領

「ベルナデット」

最強のファーストレディ

フランスのシラク元大統領（1995～2007年在任）の妻ベルナデットをモチーフに「事実を自由に脚色した」というコメディです。夫を大統領にするため、陰で支え続けてきたベルナデットに、ようやくその日がきます。ところが、夫や側近たち、広報を務める娘クロードからも「時代遅れ」「メディアに向かない」と無視され、大統領夫人の仕事すら与えてもらえません。夫はというと、女性を下に見て、彼女にも横暴な態度を示す、その上に女癖が悪いというどうしようもない男。

ベルナデットは政府の職員ニケを参謀にして、メディアに注目される存在になることをめざします。ファッションを改め、慈善活動をアピールし、進んで国民の中に入っていきます。自身も県議であり、もともと聡明で国民感情をつかむのに長けているベルナデットは、こうして大きく成長します…。フランスの名優カトリーヌ・ドヌーヴが貫禄たっぷり、時にお茶目な顔を覗かせ嬉々とベルナデット役を演じました。

2002年の選挙の際、支持を伸ばす極右のマリー・ルペンを警戒するようにとの言葉に全く耳を貸さない夫や閣僚たち、シラクと次期大統領サルコジの確執など、ベルナデットから見える当時のフランスにおける政治状況が描かれて楽しめました。

何度か「これはフィクションです」と強調されると、却って「あたらずとも遠からず」の感を強くしました。公開は昨年末、配信もされています。

フランス大統領夫人が巻き起こす 愛と人生を賭けた大逆転の物語

いそがしいが、いそがしいが



現在、掩体壕内は農機具置場として利用されています

屋根に土を載せ 戦闘機をカムフラージュ

八尾市垣内に住宅街と農園が広がり、身を隠すように掩体壕が現存されています。戦時中、敵機の来襲から逃れるため、屋根に土を載せて周辺の景観にあわせて擬装していました。航空機の製造に最先端技術を要求されて、今日「ものづくり八尾」の優れた技術力に活かされています。掩体壕や記念碑から見える八尾市の街並みや産業立地などに、平和の大切さがひしひしと伝わってきます。



第11飛行師団司令部跡記念碑
（八尾市志紀町西公園）

が山すそに築造されました。当時の飛行場から掩体壕まで4・5kmを人力と牛を引いて戦闘機を移動したなど、戦時中の緊迫感が伝わってきます。

うちの近所 コレイチ

わが町 自慢紹介 130

戦後・被爆80年



大阪唯一の
掩体壕
八尾市

戦争遺跡にみる平和の大切さ
えんたいごう
府内で唯一現存する「掩体壕」

Culture Navi かるチャナビ

作りませんか



鶏肉のさっぱり煮

貝塚市職労 瀬戸 真一さん

協力：現業評議会・給食部会



材料（4人分）

鶏もも肉140g、にんにく少々、土しょうが少々、酢大さじ2杯強、濃口醤油大さじ2杯弱、砂糖大さじ1杯弱

作り方

- ①にんにく、土しょうがはみじん切りにする。
- ②鶏肉を一口大に切る。
- ③鍋に酢・濃口醤油・砂糖・にんにく・土しょうがを入れ沸騰させる。
- ④鶏肉を入れて、再度沸騰させてから中火で7～8分煮る。時々ひっくり返し、よく火が通るようにする。

※手羽先でもOK。うずら卵を入れるのも良いです。

心に響くひとこと

The Personal is Political

不詳
（1960年代以降の学生運動やフェミニズム運動でスローガンとされた）

「子どもの大学授業料が高すぎる」「年老いた父親が介護保険から外されたので介護サービスが利用できなくなった」……このような問題を解決するには、国の教育予算を増額したり、介護保険法を改正する必要があります。「政治を変えて、要求を実現する」ことです。憲法改正に賛成か反対か、大軍拡を許すのかといった大きな問題ばかりが「政治」ではありません。「政治」はもっと身近なところにあるのではないのでしょうか。

今月の記念日

6月23日
慰霊の日

沖縄戦犠牲者の霊を慰め世界の恒久平和を願う日。琉球政府や沖縄県が条例で定めた記念日として、学校や役所などの公的機関は休みです。沖縄戦は、第2次世界大戦末期、日本軍と沖縄諸島に上陸したアメリカ軍主体の連合国軍とが死闘をくり広げた戦いでした。米軍の物量作戦、空襲や艦砲射撃で無差別攻撃し、おびただしく砲弾を打ち込む「鉄の暴風」が沖縄の風景を一変させ、1945年9月7日に沖縄戦が終わりました。「平和の礎」に刻まれた人数が24万2567人（5月26日現在）です。平和祈念公園から平和広場に通じる通路の中心線が「慰霊の日」である6月23日の「日の出」の方位に合わせて設計されています。沖縄の地で日の出をながめてみてはいかがでしょうか。